

2013年6月

セントラル警備保障株式会社

各位

はじめに

より複雑化する社会構造の中、“安全”の重要性はますます高まっています。社会生活の様々なシーンで多種多様なセキュリティが求められており、セントラル警備保障株式会社(本社:東京都新宿区 社長:鎌田伸一郎)では、「仕事を通じ社会に寄与する」、「会社に関係するすべての人々の幸福を追求する」という“創業の理念”を掲げ、日々安全と安心を守り、サポートしています。

セントラル警備保障では、皆様に現代の警備会社の実態を知っていただくため、定期的にニュースレターを発行し、情報提供してまいります。第1回目は、警備会社が実施する研修についてご紹介します。

独自の研修センターで実施

「警備業者は、警備員に対し、警備業務を適正に実施させるため、教育を行うとともに、必要な指導及び監督をしなければならない」と警備業法で定められています。当社においても、警備業法のもと、担当職務に応じた研修が行われています。

研修は通常、当社が保有する東京・町田市、もしくは兵庫・西宮市の研修センターにて行われます。研修センターには講義のための視聴覚教室をはじめ、実技研修で使用できる道場なども完備し、日々様々な研修が実施されています。

5月中旬には東京研修センターにて、機械警備を担当する社員を対象にした研修が行われました。機械警備とは、警備員を置かず、代わりに警備対象施設にセンサーを設置し建造物侵入や火災等の異常を機械で察知、その情報を指令センターで受信、警備員が現場へ急行し初期対応をとる形態の警備業務のことです。近年では、オフィスビルだけでなくマンションなど多くの施設でセキュリティシステムが導入されており、さらにはカメラシステムも注目をあびています。



基本動作訓練



CSP 東京研修センター(東京・町田市)

今回は、警備業務実施のための講義をはじめ、AED(自動体外式除細動器)を使用した応急手当や護身術などの実技、さらには機械警備に使用される装置についての説明やケーススタディなどについても研修が行われました。

女性スタッフの実務にも



講義風景

警備業界では、ここ数年で警備業務に携わる女性スタッフの採用が増加しています。商業施設やオフィスビル、ホテルなどの警備場面はもとより、施設の受付業務など、女性ならではの仕事の幅も広がっています。今回の研修では、機械警備指令センターに勤務する市川警務士と盛山警務士の2名の女性が参加しました。

彼女たちは、日頃、指令センターにてお客様からの問い合わせやセキュリティシステムの監視、警備員に対する現場出動の連絡などを行なっています。



機械警備業務に関する研修

市川は、「研修では機械警備で使用している装置の説明を受けて、実際に機器に触れることで、お客様からの問い合わせに応えられる知識が増えることが最も役立っています」、盛山は、「普段はパトロールの現場に出ないため、研修を受けることで現場の気持ちや緊張感を体感でき、指令センターでのやりとりにも役立っています」と研修受講の感想を述べています。

両名ともに新卒で指令センターに配属されており、研修で警備に関する知識などを学ぶことは、日々の業務に直結してスキルアップにつながっています。

セントラル警備保障では武道部の活動にも力を入れており、市川は剣道の有段者として数々の大会に参加し優勝しています。

セントラル警備保障では、独自の人材育成システムに基づき、今後も充実した研修を実施し、安全と安心のサービスを提供してまいります。



応急手当 実習

< セントラル警備保障 社員紹介 >

盛山警務士
所属：東京システム事業部

市川警務士
所属：東京システム事業部



左：盛山警務士、右：市川警務士

参考資料

研修センターについて

< 東京研修センター >

所在地： 東京都町田市
1992 年竣工
(前身である「東京研修所」は 1971 年開設 警備業界初の研修施設)

< 関西研修センター >

所在地： 兵庫県西宮市
1999 年竣工
(前身である「大阪研修所」は 1976 年開設)

会社概要

商 号： セントラル警備保障株式会社
本 社： 〒163-0831 新宿区西新宿二丁目4番1号 新宿NSビル
代 表： 代表取締役執行役員社長 鎌田伸一郎
創 業： 1966年3月10日
資 本 金： 29億2,400万円
株 式： 東証第一部上場
事 業 内 容： 1. 常駐警備 2. 機械警備 3. 輸送警備 4. 機器販売及び工事 5. 情報サービス
U R L： <http://www.we-are-csp.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

セントラル警備保障株式会社
管理本部 経営企画部 広報宣伝・IR室
TEL:03-3344-8747 FAX:03-3345-2418 電子メール: editor@we-are-csp.co.jp